

執筆者略歴

船橋 洋一（ふなばし よういち）

アジア・パシフィック・イニシアティブ理事長

東京大学教養学部卒業、慶應義塾大学(法学博士)

朝日新聞入社、ハーバード大学客員研究員、国際経済研究所客員研究員、コロンビア大学客員研究員、ブルッキングス客員研究員、朝日新聞社主筆、一般財団法人日本再建イニシアティブを設立・理事長、民主党の提言組織「党改革創生会議」の議長などを経て2017年から現職。

著書に『カウントダウン・メルトダウン』（文藝春秋社、2013年）、『ザ・ペニンシュラ・クエスチョン』（朝日新聞社、2006年）、『21世紀 地政学入門』（文春新書、2016年）などがある。

八尋 俊英（やひろ としひで）

日立コンサルティング社長

東京大学法学部卒業、ロンドン大学(法律修士)

日本長期信用銀行、ソニー、経済産業省中途採用第1期「情報大航海プロジェクト」、シャープなどを経て2014年から現職。

犬塚 博誠（いぬづか ひろせい）

一般財団法人防衛技術協会 事業部長

大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了(工学博士)

三菱重工業技術本部、三菱重工業防衛・宇宙ドメイン先端技術事業部、先端技術部首席技師などを経て2019年から現職。

森 聡（もり さとる）

法政大法学部国際政治学科教授（専門は、法学、国際政治）

京都大学法学部国際政治専攻卒業、京都大学法学研究科（修士）、コロンビア大法学部（修士）、東京大学大学院法学政治学研究科（博士）

外務省入省、東京大大学院法学研究科比較法政研究センター研究員を経て、2008年から現職。

著書に『ヴェトナム戦争と同盟外交』（東京大学出版会、2009年）がある。

篠原 秀俊（しのはら ひでとし）

2等空佐 航空研究センター防衛戦略研究室

防衛大学校卒業、米国トロイ州立大学大学院管理学修士課程修了（管理学修士）、青山学院大学大学院国際政治経済学研究科修了（国際政治学修士）、同博士後期課程在籍。

航空自衛隊幹部学校教育学部戦略教官室などを経て現職。

山下 愛仁（やました あいひと）

1等空佐 航空研究センター長

駒澤大学法学部卒業、駒澤大学法学研究科博士後期課程満期退学、第48期指揮幕僚課程修了、第57期防衛研究所一般課程修了。第22高射隊長、航空幕僚監部法務官（企画・訴訟担当）、自衛隊静岡地方協力本部長、航空幕僚監部服務室長、航空研究センター研究企画管理室長などを経て現職。

駒澤大学非常勤講師（平成23年度、平成24年度）、慶応義塾大学総合政策学部非常勤講師（平成29年度～現在）、著書に『国家安全保障の公法学』（信山社、2010年）、『エア・パワー空と宇宙の戦略言論』（共編、日本経済新聞出版社、2019年）があるほか、論文に「グレーゾーン事態への対応方法としての危機管理ーその有用性と限界ー」（『エア・パワー研究』第3号、2016年）などがある。

山本 哲史（やまもと てつし）

3等空佐 航空研究センター防衛戦略研究室

国立松江工業高等専門学校卒(準学士)、神戸商船大学商船学部卒(学士(工学))、名古屋大学大学院国際開発研究科修士課程修了(修士(学術))、同大学院博士課程修了(博士(学術))

東京大学大学院総合文化研究科特任准教授、モンゴル国立大学法学部日本法教員(名古屋大学法学研究科から派遣)などを経て現職。

味崎 利光（みさき としみつ）

1等空佐 航空研究センター研究企画管理室

防衛大学校卒業、第41期防衛大学校理工学研究科前期課程修了(理学修士)、第56期指揮幕僚課程・フランス統合軍国防大学指揮幕僚課程修了、三沢気象隊長、第66期防衛研究所一般課程・政策研究大学院大学政策研究科修士課程修了(政策研究修士)などを経て現職。